

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ながおか医療生活共同組合	代表者	羽賀 正人	法人・事業所の特徴	長岡市内で複数の診療所や多数の高齢者施設を運営する医療生活協同組合が平成19年に開設した小規模多機能型居宅介護施設である。認知症対応型共同生活介護が併設されている他、同じ法人の通所介護や認知症対応型通所介護、介護付（混合型）有料老人ホームも隣設されており、互いに協力・連携して運営されている。また、経営母体の診療所とは日頃から緊密な連絡をとり情報を共有し、適切な医療が受けられるよう支援している。
事業所名	プラット笹崎	管理者	田中 太一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	5月 今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			●全職員で自己評価に取組み、事業所評価は全常勤職員の意見が反映され基準に満たされた評価である。●改善策を具体的に明記することで、第三者はわかりやすくなるのではないと思う。●改善策は評価しやすく次に活かせるものが良い。	●年度初めに評価全体の工程表を作成し、計画的に自己評価・事業所評価を行い外部評価が開催できる。 ●事業所自己評価の改善計画は、第三者が見てもわかりやすく具体的に明記し評価しやすい内容とする。
B. 事業所のしつらえ・環境			●玄関には四季折々の飾りつけがされ、明るく入りやすい。●畳スペースやソファなどを設置し、利用者個々が気軽に過ごすことができる。●音楽やテレビの音量にも配慮している。●事業所を訪問した時は、常に鍵は掛かっている。	●年2回利用者家族や地域の方々から事業所へ気軽に立ち寄れるような行事を企画し一緒に過せる機会を設ける。 (1月：新年会、7月：納涼祭) 12月クリスマス会(2A区域まつり)。
C. 事業所と地域のかかわり			●いつ伺っても職員の皆さんは、明るく礼儀正しく挨拶をして下さる。●地域の方々の自宅に伺い広報誌を配布したりし関わりを持とうとしているが、知られているかは不明である。●スタッフが町内の行事に参加している。	●地域の方を対象にした認知症学習会の開催や年2回地域を訪問し、福祉の相談にのり地域との関係を築く。見学会 (6月、10月)
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			●外出の計画があり出かけている。●行事以外にも天気の良い日は外出している。●職員は地域行事に参加しているが、利用者は参加していないように思う。●事業所広報誌を地域に回覧したりPR誌を配布し、そこで受けた相談に対応している。	●民生委員や町内会長への訪問、運営推進会議構成員、回覧板から地域が主催する行事の情報を得、利用者と職員と一緒に参加できる。
E. 運営推進会議を活かした取組み			●事業所の取組みは書面なども付加え解りやすく説明されている。●直接的な事例検討は行われていない。●地域のクリーン作戦等に参加しているが、他は不明である。●会議に参加されている方からの意見を改善に繋げ、その報告を受けることがある。	●運営推進会議での参加者からの意見や提案等は、月1回行っている事業所会議にて検討し、次回の運営推進会議にて報告する。 ●運営推進会議の参加者から、地域に住まわれている方々の特色や問題を聞き、検討の場とする。
F. 事業所の防災・災害対策			●運営推進会議で防災計画を見せていただいたことがある。●地域の防災訓練に参加されている。●機会もなく事業所の防災訓練に参加した事がない。●水害や地震など地域の方が困らなければ、事業所を避難所として開放したらどうか。	●運営推進会議の開催日に防災訓練を設け、会議参加者からも訓練の様子を見ていただき、意見や要望を聞き改善に繋げる。